

博士

後

のキャリアを考える

平成8年に策定された第一期科学技術基本計画の中で

ポストドクター等1万人計画が謳われて約10年。

ポスドクの数当初の目論み以上に増え続け、

2万人にも達しようかという勢いで増え続けています。

博士課程の拡充により、博士課程への進学者も増え続けています。

彼らは、「その後」こういった方面で活躍しているのでしょうか。

社会は彼らをどのように迎えているのでしょうか。

社会の中で「博士」という人材は活かされているのか、

彼らもまたそれを活かす進路を探し当てられているのか、

に的を絞り、ポスドク制度のこの10年を振り返りつつ

パネルディスカッション方式で議論します。

博士・PD 就職支援アンケートの結果も紹介しながら、

社会と博士のクロスセクションとしての学会、講演会のあり方

について議論します。

2006年8月31日(木)

13:00 - 15:30

立命館大学びわこ・くさつキャンパス

コーニングハウス I 1F C104 (ZL)

(秋季学術講演会会場)

①「挨拶」

尾浦憲治郎 (阪大、会長)

②「人材育成・男女共同参画委員会の発足と取り組み」

小舘香椎子 (日本女子大、副会長、本委員会委員長)

③「日本物理学会の取り組み」

坂東昌子 (愛知大、日本物理学会副会長)

④産官学の立場から

白石斉 (三菱電機)

久保真季 (日本学術振興会)

安田哲二 (産総研)

赤井恵 (JST さきがけ)

⑤「パネルディスカッション」

⑥「まとめ」

近藤高志 (東大、本委員会若手部門幹事長)

主催：応用物理学会人材育成・男女共同参画委員会

共催：男女共同参画学協会連絡会

協賛：日本物理学会、日本化学会

参加申込：当日受付、参加費無料 (学術講演会に参加される場合は参加登録費が必要です)

問合わせ先 応用物理学会事務局 伊藤 Tel. 03-3238-1041 E-mail: ito@jsap.or.jp

<http://www.jsap.or.jp/activities/gender/2006autumn.html>

託児室を利用することができます (有料、要予約)。詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.jsap.or.jp/activities/gender/takuji/index.html>